

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年3月10日

事業所名 ここと。城東

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10		用途によって部屋が分かれており、使い分けが出来る。個別や集団に分けて療育が出来るスペースがある。	
	2	職員の配置数は適切である	10			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	3	トイレや物置の色がついており、視覚的にわかりやすくなっている。お子様の過ごす空間はバリアフリーになっている。	階段が急になっているが、手すりを設置し子どもの前に職員が立ち、転落防止に努めている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	3	仕組みが出来上がり、面談等で聴取を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1	頂いた意見～改善点を模索して実践している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	3		行っていないが、他店舗職員から意見を聞く機会がある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1	幅広いテーマで研修を実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1	ニーズや課題分析をしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1	アンケート等、定期的に改善、修正している。年に一度アセスメントシート、半年に一度最低でも情報の更新をしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	2		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1	可視化できるスケジュールを作成したり、事前に打ち合わせをして、活動内容や課題を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	3	朝礼での打ち合わせ、日中も可視化した予定表を活用している。	細かい予定や役割を決め切れていないことがあるため、細やかな役割分担を決めていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	終礼で振り返り、意見、情報交換をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2	ミーティングシート、療育記録を残し、改善、検証につなげている。	個別療育のシステムはあるが、記録する時間が足りないこともある為、時間を確保していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	1		

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10		送迎時の対応など細やかに連絡を取っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当者なし、受け入れなし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2	積極的には行っていないが、機会やご要望があれば行う。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				該当者なし
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		研修を受ける機会はないが、機会があれば受けていきたい。自立支援協議会に参加し、その他の事業所との連携を企画している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	8		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	2	施設を代表して、児発管が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		ご利用毎にそ日の活動、課題等相互に伝え合える時間をとっている。	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	2	面談時、ご相談時、必要なアドバイスをしている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		契約時や料金発声時に、紙面と口頭と合わせて説明している。 質問等にもその都度詳しくお伝えしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10		リトム、LINE、面談等相談に乗る機会と媒体の用意は多くある。 療育の視点から行っている。 ご希望があれば面談も行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	3		・保護者参加型のイベントを開催しているが、保護者同士の関わりは少ない。 ・コロナ感染症の視点からも実施を見送っていたが、今後検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1	LINEでの日々の様子等、個別連絡、イベントもブログやタイムラインで発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	9	1	同意書を取り、その通り実施している。	職員によって管理方法が違う為統一をする
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10		絵カードや意思表示カードを用意している。保護者様とも情報共有をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	8		感染対策や個人情報保護の為招待等は行っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	1	職員に周知し、保護者様にもお伝えしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		最低、半年に一度必ず、避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		虐待防止委員会を設置し、研修も実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10		直接説明、同意書に署名を頂く機会を設けている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	3	保護者の指示のもと、行っており使用する食材は事前に公表している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		ヒヤリハットの情報を記録し、終礼等で共有している。 月に1度、安全会議を行っている。	